



今年度もよろしくお願ひいたします

\* 令和6年度 推進センター \*

[所長] 中川 隆雄

(写真右から)

- ・赤木 美貴恵 (特別支援教室・小学校指導・支援)
- ・上原 奈穂子 (推進リーダー・巡回指導)
- ・中島 理可 (児童通級支援)
- ・瀧口 美果 (児童通級支援)
- ・大森 佐登子 (幼児通級支援)



令和6年度が始まりました。今年度は、メンバーの変更がありませんでしたので「学校・こども園・保育所の訪問」は行いません。それに伴い、いつもより早く4月18日木曜日から指導をはじめます。

\* ことばの教室(言語通級指導教室)とは \*

ことばで相手とやり取りをする際、うまく相手に伝えられない、発音がまちがっている、相手のことばをうまく聞き取れない、理解できないなどの問題が起きるとき、遊びながら(自立活動)専門的な指導を行うところです。

どの過程に問題があるのか



具体的には、

- ①構音障害
  - ・発音の誤り
- ②軽度難聴
  - ・聞き取りづらい
  - ・聞こえないことによる構音障害
- ③吃音
  - ・話しはじめの音が出にくいタイミング障害
- ④言語発達の遅れ
  - ・ことばをうまく理解できない
  - ・語彙が少ない

【聞く過程】

【話す過程】

⑥メッセージを理解する段階

⑤聞き取った音をことばとして理解する段階

ことばをうまく理解できない  
・言語の遅れ・学習障害など

④音を聞き取る段階

聴覚障害 耳鳴り など

①メッセージを思いつく段階

伝えたいという意欲がわかない  
・重い知的障害・自閉症 など

②文を作る段階

文をうまく組み立てられない  
・言語の遅れ・学習障害など

③発声発語の実行段階

構音障害・音声障害・吃音など

自分の音声を  
調整する  
大きさ・高低・発音  
内容をチェック

このうちのどれかで困っている幼児・児童が通っています。





- \*「発音がまちがっているAくん」ではなく、「サッカーがうまくて、カレーが好きで、友達にやさしくできて、家でよくお手伝いをする、少し発音が苦手なAくん」と学習していきます。
- \*遊びながら『ことばのキャッチボール』をするなかで、上手なやりとりを身につけ、語彙が豊かになっていきます。
- \*自分の感情をうまくことばにできずイライラしてしまう子も、ゆっくり話を聞く時間を保障し、そこで話をする経験を重ねることで、自分の気持ちをことばにして伝えられるようになっていきます。
- \*週7時間のかかわりを通して、得意なことを伸ばしたり、できることを増やしたりするなかで、笑顔とおしゃべりが増えていくのがうれしいですね。



第1指導室

新見市特別支援教育

推進センター



通級指導教室  
ことばの教室



第3指導室

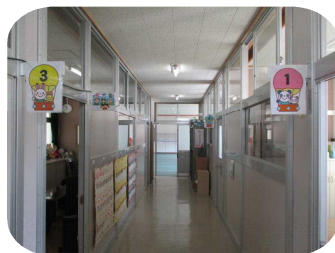


構音カード

第2指導室



プレイルーム



プレイルーム



おもちゃ



待合室



気持ちをことばにする